



三井金属

2019年2月6日

各 位

ライフサイエンス領域ベンチャーへの出資についてのお知らせ

～五稜化薬への出資～

当社（社長 西田計治）は、研究用試薬や診断用医薬を開発・製造販売する五稜化薬株式会社（本社：北海道札幌市、社長：丸山健一、以下「五稜化薬」）に出資致しましたので、お知らせいたします。

当社は、中期経営計画「16中計」において成長商品・成長事業の創出を図ることを掲げ、将来への布石作りとして新事業の創出に取り組んでおります。この一環として、2017年9月1日のプレスリリースのとおり、プライベートファンド（コーポレートベンチャーキャピタル：以下CVC）を設立し、既存事業分野と事業シナジーが見込まれる国内外の有望なベンチャー企業への投資活動を行っています。

この度出資した五稜化薬は、「ケミカルバイオロジーで生命の見える化に貢献する。」を使命とし、“日本発”の、他社にはない特徴のある蛍光試薬群を開発・製造販売するとともに、がん蛍光プローブの診断薬分野への臨床応用開発を手掛け、診断薬事業への新たな挑戦を始めています。

当社は、五稜化薬に出資することで、当社の特徴ある材料を、五稜化薬のバイオ分野の製品開発に応用する活動を積極化して参ります。更に、これを当社にとっての新しい市場領域への参入の足掛かりとし、当社のスローガンである「マテリアルの知恵を活かす」のもと、今後、ライフサイエンス領域での事業機会を広く追及して参ります。

以上

【リリースに関するお問い合わせ先】

三井金属 経営企画本部 広報部 TEL 03-5437-8028 Eメール PR@mitsui-kinzoku.com

(ご参考)

1) 蛍光試薬について

蛍光試薬とは、各種官能基と反応する結合基を有する蛍光体の試薬です。

2) がん蛍光プローブ診断薬について

がん蛍光プローブ診断薬とは、がん細胞と結合することで蛍光する世界で初めての有機蛍光色素を用いた診断薬です。五稜化薬の蛍光プローブは、それ自身は無蛍光であるが、観測対象分子に特異的に結合・反応し、その前後で蛍光特性を大きく変化させる“Activatable 蛍光プローブ”であることを特徴としています。

“always-ON”プローブ a と“activatable”プローブ b によるがんイメージングの比較

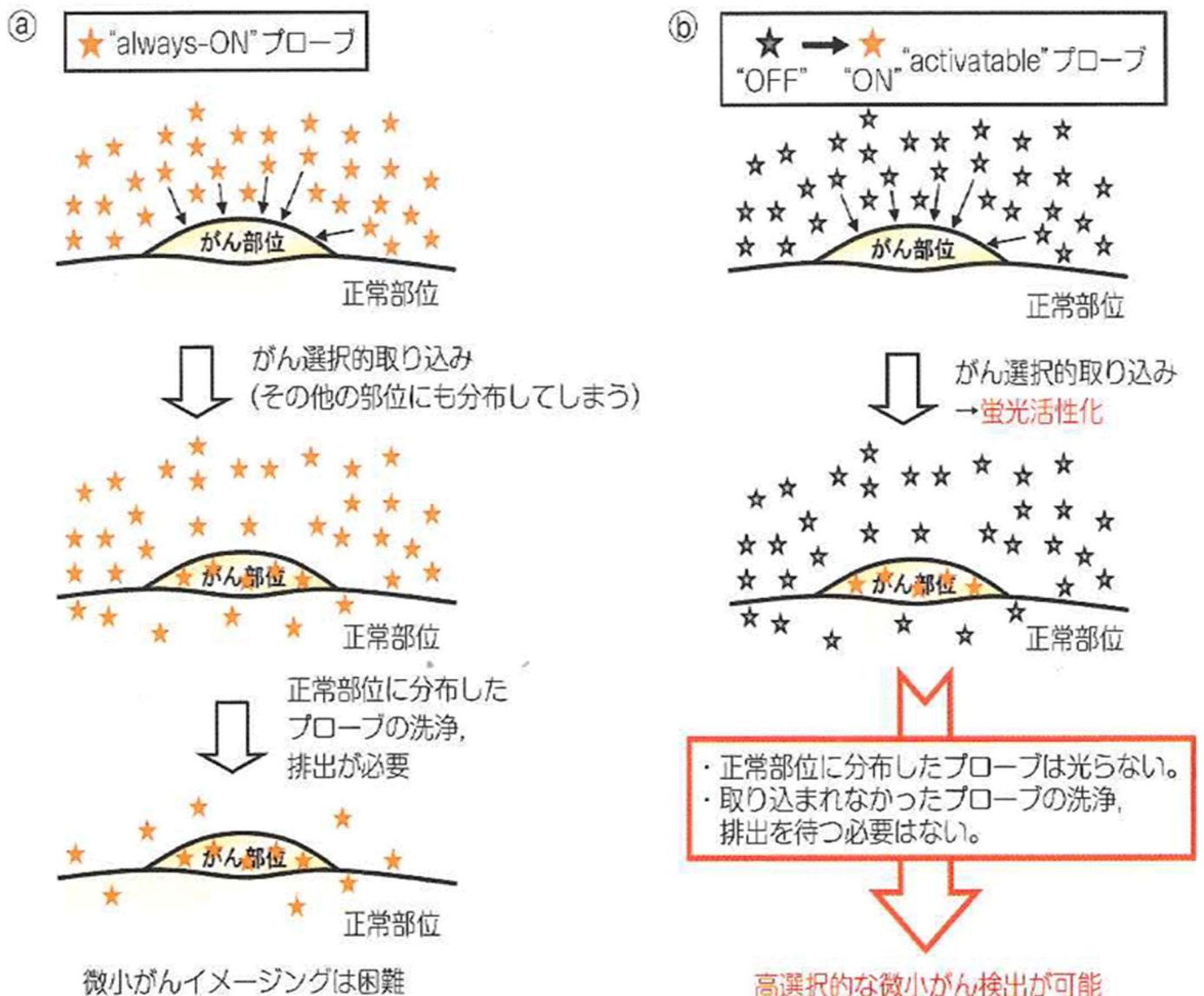


図1. 五稜化薬の蛍光プローブ技術 (提供: 東京大学大学院薬学系研究科浦野先生)

3) 会社の概要

	五稜化薬株式会社
1. 設立	2010年7月16日
2. 所在地	北海道札幌市中央区北8条西18丁目35番地100
3. 資本金	100百万（資本準備金50百万を除く）
4. 事業内容	①機能性色素の販売 ②機能性色素の受託合成 ③機能性色素を用いた診断薬開発
5. 従業員数	22名